

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

国内ではじめて生産から加工まで行う バナラビーンズの試作、開発および販路開拓

我が国の気候風土や食品衛生基準を満たす独自の発酵・乾燥技術を用いたバナラビーンズの開発と販路開拓を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 **池上農園、(農)ホワイトベリー(以上、農業)**

農地、園芸作物の栽培技術、観光農園の運営経験を有効活用することによって、現在は栽培実績のないバナラを栽培し、本商品に適した高品質のバナラ果実を安定的に提供するとともに、周年栽培の体系化・観光農園化に取り組む。

中小企業者 **(有)金子植物苑 (食料品製造業)**

独自の発酵・乾燥技術を活用し、バナラビーンズ、バナラ加工商品を開発し、全国の洋菓子店等の販路を開拓する。

連携参加者 **福岡県工業技術センター 生物食品研究所**

筑後川流域の酒類開発等を支援してきた実績・技術を活用し、バナラビーンズの香り成分等の分析・評価を行う。

サポート機関等 **久留米商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構九州支部**

➤ 連携の経緯

バナラビーンズの発酵・乾燥技術を用いた新たな事業展開を図るとともに、地元から主材料となるバナラ果実の調達先を探していた(有)金子植物苑と、園芸作物の栽培実績がありイチゴ以外の農産物による周年栽培化、収入アップを図っていた池上農園、(農)ホワイトベリーの思惑が合致し、連携に至った。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

バナラ果実の生産は海外での栽培が主で国内での商業生産の実績がなかった。そこで、池上農園、(農)ホワイトベリーは、イチゴ等の園芸作物の栽培技術と、観光農園の運営実績を活用し、周年栽培の体系化と観光農園化に取り組む。(有)金子植物苑は独自開発した発酵・乾燥技術をもとに商品の開発を行い、収益性の高い国産バナラビーンズやその加工品製造・販売への事業転換を図る。



当社製造の国産バナラビーンズ 筑後で咲いたバナラの花



➤ 連携による効果

農林漁業者 **5年で1,100万円の売上高増加、地域ブランド(筑後地区のバナラ)の確立**

イチゴの栽培と組み合わせ、周年栽培の体系化を可能にするとともに、観光農園化により筑後地域への誘客を図る。

中小企業者 **5年で4,200万円の売上高増加、収益性の改善**

バナラビーンズを生産とその加工品に向けた事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 有限会社金子植物苑
TEL : 0942-22-8483
E-mail : info@vanilla-de-kurume.com

所在地 : 福岡県久留米市藤山町1731-1
FAX : 0942-22-8490
ホームページ : <http://vanilla-de-kurume.com/>